

新風



互いに手を握る中島さん(左)と江崎さん＝中津川市内で

普段は冷静に課題を分析し、
 決策を語る江崎禎英さん(60)が、
 感極まる場面があった。12日、演
 説会場の中津川市の中津川北商工
 会。視線の先には地元で工務店を
 営む中島紀子^{のりお}さん(80)がいた。

2011年の東日本大震災。当
 時、県の商工労働部長だった江崎
 さんは、福島県から避難した被災

14年越しのお礼

者の受け入れ支援に取り組んだ。
 現地に被災者を迎えに行くバスは
 用意できた。だが、肝心の燃料が
 なかった。

県内のガソリンスタンドに頼ん
 で回ったが、大震災のショックで
 在庫に不安を感じていた業者は、
 どこも応じてくれなかった。

そんな窮地を救ったのが中島さ
 んだった。人づてに県が困ってい
 る状況を聞いていたといい、江崎
 さんに電話した。「うちでためて
 ある軽油でも使う?」

演説でこのときのエピソードを
 披露した江崎さんは「泣けまし
 た」。中島さんは「普段は文句ば
 かり言う私でも、江崎さんは応援
 したい」。互いに手を握り合っ
 た。

(稲垣達成)